

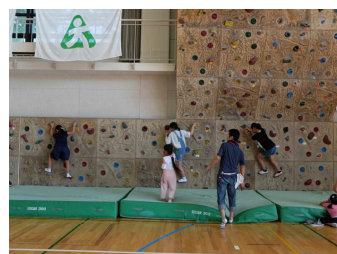
平成30年度 生活・自立支援キャンプ事業 子ども生き生き体験学習①

- 1 趣 旨 母子生活支援施設で生活する子供たちを対象に、自然体験活動や生活体験活動を通して、「生活・自立」を支援する取組を行うことにより、子供たちの基本的な生活習慣の確立をめざすとともに、自然を愛する心を育成する。
- 2 期 日 平成30年7月24日（火）～25日（水） 1泊2日
- 3 対 象 者 母子生活支援施設「第二千草寮」で生活する小・中学生
- 4 募集定員 なし
- 5 参加者 12人（小学生7人 中学生3人 施設指導者2人）
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
- 7 日程と主な活動

《1日目》 7月 24日 (火)	8:30	9:00	10:00	11:30	12:00	13:00	16:30	20:00	21:00
	タクシー移動	桜島フェリー乗船	桜島港出発バス移動	入所オリエンテーション	昼食レストラン	《体験》RDチャレンジペタンクボルダリング	《生活》夕食作り後片付け入浴	《体験》星空観察自主学习	まとめ就寝
《2日目》 7月 25日 (水)	6:00	7:00	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	15:30	16:30
	起床	《生活》つどい朝食レストラン	鹿屋市漁協へ移動	《体験》カンパチ養殖場漁協見学漁業体験	昼食漁協食堂	感想アンケートふりかえり別れのつどい	桜島港へバス移動	桜島フェリー乗船	タクシー移動

8 事業運営上の配慮

- (1) 施設職員と事前打合せ等を入念に行い、本事業の目的と内容について共通理解を図り、子供たちの実態を考慮した活動を取り入れるようにした。
- (2) 猛暑の中での活動が予想されたため、適時休憩を入れたり、飲料水を多めに準備したりして熱中症予防に努めた。



9 参加者の感想

- カンパチの餌やり、漬け丼、バーベキューなどとても楽しかったです。食べることが好きな私は、漬け丼やバーベキューをたくさん食べました。(児童)
- ボルダリングやペタンクがとても楽しかったです。他にもいろいろな体験ができてすごく楽しかったです。(児童)
- 子供たちが活動を協力し合って頑張る姿や、カンパチの餌やりをはいしゃいで楽しんでいる姿を見て、私自身も楽しむことができました。(指導者)



10 成 果

- ボルダリング等の体力作り、ガスコンロやガス炊飯器を使用した調理体験、カンパチの餌やり体験等を通して、子供たちが達成感や満足感を味わうことができた。
- 子供たちにとって未経験の体験活動が多かったため、興味関心をもって活動に取り組んでいた。

